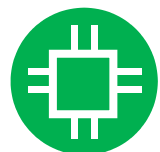


運転データを活用した新たな価値創出を目指して、研究開発、並びにデータ分析に取り組んでいます。近年、IoT/AI技術活用に対する関心の高まりから、センシング技術や分析技術が発達しており、それら技術を導入しつつ、自社ノウハウと融合させながら顧客満足獲得を図ります。



CONNECT データを収集する仕組み



COLLECT データを収集し、見える化



COMPUTE CONTROL データの分析を行い、意思決定をサポート



CREATE 分析データを組合せ、新たな価値創出

製品分野 **Continuation**

- 環境規制対応や新燃料対応等の新たなソリューションに対して、運転データのデータベース化や診断機能を強化しています。
- 故障予兆診断やCBM普及活動を、お客様、パートナー様と協業して推進しています。
- 国内外のパートナー様と連携し、最新センシング技術のトライアルを行っています。
- 蓄積されたデータを分析して、新たな開発シーズの発見とアプリケーション開発を推進しています。

業務効率化分野 **New**

- 新設備やアプリケーションを活用し、製品試験運転等に於けるデータ収集の効率化や見える化を推進しています。
- 社内業務データに対して分析を行い、各業務の意思決定をサポートできる仕組み作りを行っています。
- 製品の品質管理や部品管理等に於いて、ICT技術の活用を検討しています。

船舶運航ビッグデータを活用した予防保全の共同開発

- SIMSを用いて収集した運航データをエンジンメーカー目線で分析して、リアルタイム予防保全を継続して実施。データ分析的アプローチによる安全運航に貢献。
- 得られた知見を活用して、新たな監視モデルをお客様と共同で開発し、実船トライアルを適宜実施中。
- これら監視モデルを活用して、CBM(Condition Based Maintenance)の 運用環境を確立させると共に、新たなビジネスモデルを検討中。